

錦江町立大原小学校 学校だより

令和5年6月号



おおはら

創立137周年(明治20年創立)

合言葉：にこにこ(笑顔) ぐんぐん(努力・挑戦) ぽかぽか

学校の横を歩くと、右側には大きな木が、左側には小さな木が、それぞれに育っています。



学校も地域も「心のバリアフリー」の推進を

大原小学校 校長 久保田 昭二

「心のバリアフリー」ということばをお聞きになったことあるでしょうか。一昨年行われた東京パラリンピックに関する報道等でよく使われたことばです。また、今年度より「盲学校・聾学校・養護学校」と呼ばれていた学校の名称が変わり、「特別支援学校」となったこともご存じと思いますが（例えば、「鹿屋養護学校」→「鹿屋特別支援学校」に変更）、特別支援教育においてもよく使われることばです。

「心のバリアフリー」とは、「障害の有無にかかわらず、高齢になっても、どんな立場でも、安心して自由に生活をするため、一人ひとりが多様な人のことを思いやる心をもつこと」です。文部科学省も「心のバリアフリー」教育の推進を図っています。本校でも、児童一人ひとりの特性に合わせ、児童の「困り感」に応じた学校生活を送れるような様々な配慮をしています。授業においては、ICT（タブレット）を活用した授業を行ったり、学習支援員の活用によるきめ細やかな指導を行ったりして、児童一人ひとりのニーズに合わせた授業を行っています。子供のみならず、私ども大人が「心のバリアフリー」の気持ちを持ち、偏見や差別の言動をすることなく、様々な人が暮らしやすい世の中になれるようにしていきたいものです。保護者や地域の皆様も「他者理解」を深め、何人も認め合い、支え合い、助け合って共生できる社会を創っていきたいものです。学校も頑張っています。



これぞ地域力

5月21日（日）に本校児童や卒業生、教職員や保護者、そして地域の方と総勢約60人にご協力いただき、愛校作業が行われました。おかげをもちまして、校内が大変きれいになりました。改めまして感謝申し上げます。この愛校作業を通して「大原の地域力」の素晴らしさに感動いたしました。地域のつながりが希薄となってきた昨今、この素晴らしい地域の伝統を学校としましてもぜひ、子供たちにつなげていきたいと思っております。今後とも大原小の学校運営へのご理解とご協力を引き続きお願いいたします。



自然災害に要注意

5月末、例年より早い梅雨に入りました。5月末の台風2号の影響で、東海・関東地方を中心に水害も発生しました。近年の天候は、予測不能です。常に、災害への備えをしておきたいものです。土砂災害や河川の増水もですが、細い側溝での増水も要注意です。特に登下校や休みの日の過ごし方については、ご家庭でもお話してください。自分の命を守るためにも、通学路や家周辺での危険個所についても、再度ご確認ください。



5・6年生修学旅行



・本ま車自な
5熊き乗を重
ので行に内貴
校同に線市り
学合行幹本た
小と旅新熊し
代生学。り修
田年修した主
6にしたし主
にしたし主



AED 救命救急講習



消防よ・対た救あ
部に5をし救命が
南方たり生し救あ
のたり5をし救命が
署のたり5をし救命が
6年にし救命が
象にし救命が
AED・救命が
急講習が
りま

プール開き



P T Aによるプール掃除のご協力のおかげで6月9日（金）にプール開きを実施することができました。校長先生の話の後、児童代表が水泳学習の目標を発表しました。6月30日（金）の水泳学習発表会で、学習の成果を披露します。

国体手旗作り(たたき染め)



10月15日に実施される国体（自転車競技）の応援用の手旗を作りました。学校の花を使用して、素敵な作品が出来上がりました。

制作の様子は、7月30日（日）朝10時からMBC テレビ「窓を開けて九州」で放送予定ですので、ぜひご覧ください。

人権集会



6月1日（木）～7日（水）まで校内人権週間でした。人権集会では、人権について考えました。みんなが幸福になる権利をもっていて、上下や男女で差別されるものではありません。大原小学校では、名前を呼ぶときは、「さん」を使おうと話しました。

7月行事予定

- 4日（火）4年社会科見学
- 5日（水）町教委・事務所合同計画訪問
- 6日（木）田の草取り
- 7日（金）代表委員会
- 8日（土）土曜授業日・心の教育の日
- 14日（金）県民の日
- 19日（水）食育の日
- 20日（水）終業式
- 24日（月）～28日（金）
PTA プール開放
- 29日（土）錦江町 PTA バレーボール大会
（予定）